

原則下記のとおりだが、なんと site.py によって読み込まれる「定数」 quit と exit があるとのこと。

この2つの定数には、site.Quitter オブジェクトなるものがバインドされている。
これらは呼び出すことで、プログラムを終了させることができる。

```
exit(code=None)
quit(code=None)
```

プログラム中に普通に

```
exit()
```

または

```
quit()
```

とすれば単純に終了可能とのこと。

exit、quit 定数は呼び出すと、指定された終了コードで SystemExit 例外を発生させる、とのこと。

ちなみに、quit と exit が表示されたとき（つまり、

```
quit.__str__()
exit.__str__()
```

が呼び出されたとき）は、

```
Use quit() or Ctrl-Z plus Return to exit
Use exit() or Ctrl-Z plus Return to exit
```

といった文字列になる。

----- 以下は旧記事 -----

```
import sys
sys.exit()
```

exit は、SystemExit 例外を送出すること。

引数に整数を指定すると、それを終了ステータスとしてプログラムの呼び出し元に返す。デフォルトは 0。

整数以外のオブジェクトの場合、標準エラー出力にそのオブジェクトが書き出され、ステータスコードは 1 を返して終了する、とのこと。

リファレンスには、以下のような例が載っている。

```
sys.exit("error message")
```